

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

介護保険推進協議会資料
令和元年11月14日
保健福祉部介護福祉課

目的

市内4圏域ごとの要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を的確に把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する。また、高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定、介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用する。

調査の考え方

各地域における健康寿命の延伸に向けた効果的な介護予防の実施に向け、またその取り組みを含む介護保険事業計画の策定・実施等に向けて活用する。

総合事業の評価を通じて地域課題を把握し、地域包括ケアシステムを構築していくうえで有効な支援ツールとなるよう活用する。また、見える化の中で結果の経年比較、地域間比較が可能となる。

背景

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、要介護状態なる前の効果的な介護予防の一つとして総合事業が重視されている。

介護予防等の事業評価について、第6期では計画策定の際の実態把握のために「日常生活圏域ニーズ調査」が用いられてきたが、調査項目が多く高齢者にとっての調査負担が大きく、調査の対象が明確ではなく、調査結果から日常生活圏域ごとのサービス目標設定の方法が分からない、といった指摘があった。また、データの蓄積・共有が全国的に行われていなかったこともあり、経年的な比較や地域間の比較を行うことができなかった。そのことを踏まえ、第7期では調査項目数を96問から必須項目33問、オプション項目30問に整理され、

第6期・第7期・第8期ニーズ調査の概要

	【第6期】日常生活圏域ニーズ調査	【第7期】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	【第8期】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的	地域診断及び個別介入 (介護予防事業)	地域診断	
調査対象	限定なし	要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数	96問	必須項目33問 オプション項目30問 昭島市独自項目10問	必須項目39問 オプション項目27問 昭島市独自項目10問
標準的な実施方法	解説・案内なし	「実施の手引き」の提示	
見える化への登録	無し	あり(必須項目への回答)	あり(必須項目、オプション項目への回答)

調査項目と対象

従前の要介護度の悪化につながるリスクだけでなく、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進等のために必要な社会資源の把握に資する必要最低限の調査項目を設定。基本チェックリストの主要項目は継承し、必須項目とした。

また、社会資源等を把握する項目について、総合事業を勘案し、地域づくりの場への参加意向や主観的幸福感を追加した。

昭島市の実施方法

■厚生労働省が示した、実施の手引き及び質問項目に基づき実施する（※ニーズ調査ひな形は参考資料参照）。

■オプション項目の 27 問については、実施は自治体の裁量によるところとされているが、昭島市は実施をする。

■第 7 期の日常生活圏域ニーズ調査で追加した、昭島市独自の 10 問を追加する。

Q 1. 高齢者の相談窓口として、市内 4ヶ所に地域包括支援センターが設置されていることをご存じですか-----	1. はい	2. いいえ
Q 2. 家の周辺は、坂があったり車の交通量が多かったりなどで、外出に不安を感じることはありませんか -----	1. はい	2. いいえ
Q 3. （ここ 2 週間）毎日の生活に充実感がない-----	1. はい	2. いいえ
Q 4. （ここ 2 週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった -----	1. はい	2. いいえ
Q 5. （ここ 2 週間）以前は楽に出来ていたことが今ではおっくうに感じられる -----	1. はい	2. いいえ
Q 6. （ここ 2 週間）自分が役に立つ人間だと思えない-----	1. はい	2. いいえ
Q 7. （ここ 2 週間）わけもなく疲れたような感じがする-----	1. はい	2. いいえ
Q 8. あなたは、自分の身体を丈夫にし、健康的な生活を送る取組みにどのくらい関心がありますか	1. 関心がない 2. 関心はあるが、今後 6ヶ月以内にしようとは考えていない 3. 今後 6ヶ月以内にしようとしているが、この 1ヶ月以内にする予定はない 4. 今後 1ヶ月以内にする予定である 5. 既に行っている（6ヶ月未満） 6. 既に行っている（6ヶ月以上）	
Q 9. あなたは自分の身体を丈夫にし、健康的な生活を送るための次のどの取組みに興味がありますか	1. 足腰を強くするための取組みを試みたい 2. 噛んだり、飲んだりする状態を高める取組みを試みたい 3. 栄養状態の改善のための取組みを試みたい 4. 認知症予防のために脳機能を高める取組みを試みたい 5. 気のあった人たちと仲間づくりを試みたい 6. 特になし	
Q 10. 今後の介護と介護を受ける場所について、あなたはどのような希望をお持ちですか。現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください	1. 家族の介護を受け、できる限り在宅で暮らしたい 2. 介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい 3. 家族の介護と介護サービスの利用を組み合わせ、できる限り在宅で暮らしたい 4. 特別養護老人ホームなどの福祉施設に入り、介護を受けたい 5. 有料老人ホームやケアハウスなど、高齢者向けのサービスがある住宅に入りたい 6. その他（具体的 7. わからない	

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では「個別介入」が目的から外されているが、①介護予防に資する内容であること、②回答者からの評判が良いこと、③回収率が高くなることなどを踏まえ、アドバイス票にあたる介護予防リーフレットや簡単セルフチェック&元気体操リーフレットを返送することとする。

■調査の分析、課題把握、比較などは、国が推奨する「みえる化」システムを活用する。